

美しいハーモニーを響かせる

～花巻市中文祭のステージ発表に参加～

11月12日(水)に、花巻市文化会館大ホールで、令和7年度花巻市中学校総合文化祭のステージ部門が開催されました。本校からは2年生が参加し、合唱を披露しました。

5番目に出場した本校は、1曲目に「タイムリーパー」、2曲目に「きこえてくる」と、西南中文化祭で発表した曲をホールいっぱいに響かせました。

男女の人数に差がある2年生ですが、少ない女子が男子に負けない声量で頑張る姿が印象的でした。

この日の発表を目指して、文化祭後も

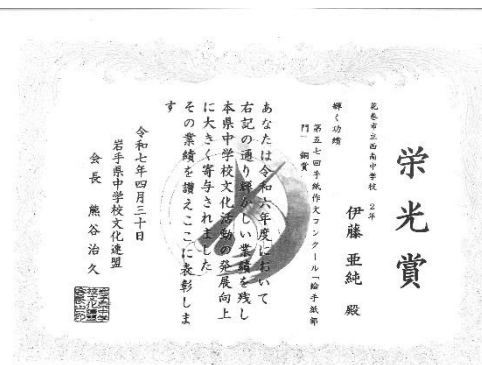


学年で練習を重ねてきましたが、その成果が十分に発揮され、会場からも大きな拍手が沸き起こりました。会を通して、他校の合唱を聞くことで参考になったこともあったと思うので、これからの合唱活動に生かして欲しいと思います。

ステージ部門の発表では、高橋新大さんと柴田銀丸さん(ともに2年)が実行委員として参加し、他校の委員と協力して運営の仕事に携わってくれました。お疲れさまでした。

また、開祭式の中では、令和6年度の岩手県中文連の栄光賞が紹介されました。受賞は、伊藤亜純さん(現3年:受賞時2年)が第57回手紙作文コンクール「絵手紙部門」で銅賞を獲得したことによるものです。賞状伝達は割愛されましたが、市中学校文化連盟会長が発表し、会場の拍手で讃えられました。

なお、15日(土)～16日(日)にかけては、同会館の展示室で、各校の作品も展示されました。本校の出品作品は、つぎのとおりでした。



- 【書道】 小原歌乃、清水彩笑(以上1年) 小原沙良、高橋佳歩(以上2年)
清水優笑、石ヶ森瑛亮、伊藤亜純、小原花夏(以上3年)
- 【美術】《デザイン》 阿部結永、荒山佳穂、白杵結愛、小原歌乃、小原絆愛、八重樫初奈(以上1年)
《絵画》 浅沼和、小原沙良、佐藤碧衣、高橋佳歩、大和走心(以上2年)
伊藤亜純、小原瑞稀、佐達瑠杜、澤田陸玖、照井和奏、照井美空、橋本和心(以上3年)
《工芸》 大保航希、佐藤直樹、清水優笑、高橋舞空(以上3年)
- 【技術】《木工》 阿部旭陽(1年)

プログラミング教室を開催 ～小原仁先生と教振のご協力に感謝～

11月13日（木）に、2年生を対象とした「第4回西南deプロゼミ」を開催しました。地域にお住いの小原仁さんを講師にお招きし、1時間目は「スクラッチ」というソフトを使って、図形を描くプログラムを一人ずつ作りました。教振の高橋さんと宮原さんが支援に入ってくださり、スムーズに進みました。

2校時目は体育館で、ボールを転がすプログラムを班ごとに作り、実際に動かしてみました。予定通りに動くこともあれば、予想外の方向まで転がることもあり、その都度歓声が上がっていました。楽しみながら学んだ2時間でした。



いざという時のために… ～心肺蘇生法とAEDの操作を学ぶ～

11月19日（水）に花巻消防署の署員をお招きして、2、3年生が心肺蘇生法とAEDの操作法について学びました。1年生は、PTA親子レクの取り組みで実施したため、今回は2、3年生が対象です。

最初に人形を使って、胸骨圧迫による心肺蘇生の実技に取り組みました。想像以上に力が必要なこと、一人で長時間行うのは難しいことなどを実感できました。AEDは機器の使用法だけでなく、周りの人にどう協力してもらうかも学びました。本校にも設置しているので、いざというときにためらわず使用できることを期待します。



思ったよりも敷居は低いかも？ ～能楽教室で伝統芸能に触れる～

11月21日（金）に県の芸術家派遣事業の一環として、岩手県能楽連合会の方々から能楽について講座を開いていただきました。最初に能楽を実演していただきましたが、その後は生徒が体験することを中心に進められました。

能楽独特の謡（うたい）の節回しや正しい礼の仕方などに全員で取り組みました。また、様々なお面や楽器を紹介していただき、鼓などは実際にたたいてみた生徒もいました。

高尚で敷居の高いイメージのある能楽ですが、身近に感じられた貴重な体験でした。



「生」と「命」の問題を考える… ～親子でライフスキル講演会に参加～

11月10日（月）に、ライフスキル講演会を開催しました。前岩手県立中部病院第一産婦人科長の秋元義弘さんから、「性の問題・命の問題」と題してご講演頂きました。

当日は、PTA厚生部をはじめ保護者にも参加いただき、親子で学ぶ良い機会となりました。豊富な資料を基にご説明いただき理解が深まりました。（写真はスライド資料の一部）

生徒は「命の尊さありがたさを改めて感じた」「当事者意識をもって行動を考えたい」「母が自分を生んでくれたことへの感謝を感じた」「情報源をSNSだけにしない」などの感想を記してくれました。

